

平成28年3月30日

原料費調整制度に基づく平成28年5月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成28年5月検針分の単位料金を、平成28年4月検針分に比べ、 1m^3 (45MJ)につき2.54円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成27年12月～平成28年2月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に 32m^3 のガスをお使いになる標準家庭で平成28年4月検針分と比較して、81円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成28年5月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

	(消費税込)					
1か月の ご使用量	料金表A 0～ 20m^3	料金表B 21～ 80m^3	料金表C 81～ 200m^3	料金表D 201～ 500m^3	料金表E 501～ 800m^3	料金表F 801m^3 ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,036.80	1,209.60	1,857.60	6,177.60	12,225.60
調整単位料金 (円/ m^3)	136.53	121.95	119.79	116.55	107.91	100.35
(参考) 4月 調整単位料金	139.07	124.49	122.33	119.09	110.45	102.89

2. 標準家庭における影響

	(消費税込)		
1か月のご使用量 32m^3 (45MJ/ m^3)	平成28年 4月	平成28年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,020	4,939	▲ 81

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成27年11月～平成28年1月 の平均 (4月 検針分)	平成27年12月～平成28年2月 の平均 (5月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格 (a)	53,070	50,230	▲ 2,840
LNG	52,830	50,040	▲ 2,790
LPG	54,860	51,140	▲ 3,720
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	▲ 4,100	▲ 7,000	▲ 2,900

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 50,040 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 51,140 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

50,225.16

↓(10円未満四捨五入)

50,230 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$50,230 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = \text{▲ } 7,020 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

▲ 7,000 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \text{▲ } 7,000 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08748^{*1}$$

$$= \text{▲ } 6.13 \text{ 円}^{*2}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 32m ³ (45MJ/m ³)	平成28年 4月	平成28年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,020	4,939	▲ 81

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込)

$$= \text{基本料金}(1,036.80 \text{円})$$

$$+ \text{調整単位料金}(128.08 \text{円}) + \text{▲ } 6.13 \text{ (円)} \times 32 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金 (税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08748円（0.081円に1.08(消費税)を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。